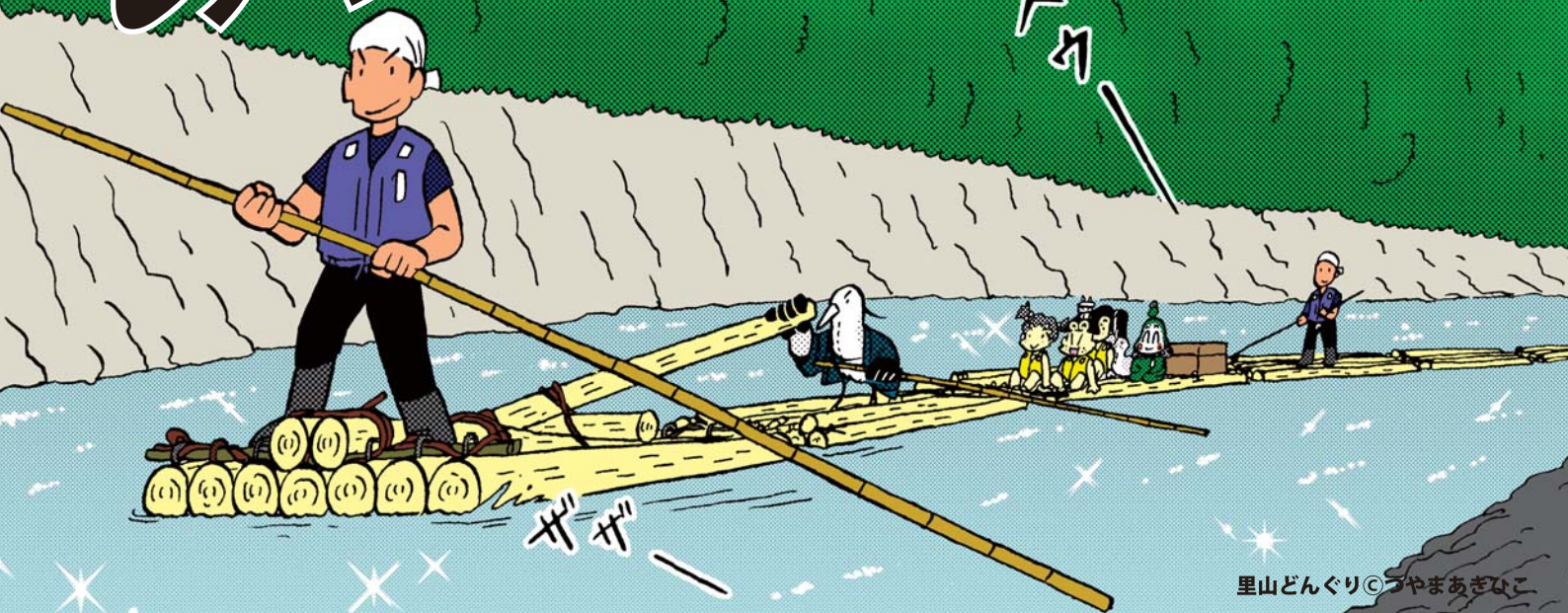




いかだに のってみよう!!



里山どんぐり©つやまあきこ

日時：2011年9月10日（土） 13：00～

※小雨の場合は開催します。但し各種警報発令時、河川の流況によっては中止いたします。

場所：保津川下り乗船場向かいの河川敷

13：00～16：00 保津川の河原でいかだの試し乗り：参加費無料
(試乗記念木製コースター、ひんやり冷たいかき氷付!!)

いかだ流しなど保津川水運の歴史のパネル展示など

保津川にいかだが流れていたのをご存じですか？

保津川のいかだの歴史は古く、約1200年前の平安京造営までさかのぼります。

今回は保津川のいかだを再現し、いかだの試し乗りをおこないます。

いかだを初めて見る方は親子で、いかだが懐かしい方はお孫さんとともに、
遠い昔に思いをはせながら、いかだに乗ってみませんか？

●お問い合わせ

亀岡市文化資料館 TEL：0771-22-0599 FAX：0771-25-6128 E-mail：bunka-siryokan@city.kameoka.kyoto.jp
URL：http://hozugawa.org/program/ikada.html

主催：京筏組（保津川筏復活プロジェクト連絡協議会）

京都府南丹広域振興局 亀岡市文化資料館 南丹森のエコミュージアム 特定非営利活動法人プロジェクト保津川
保津川の世界遺産登録をめざす会 株式会社アオキカヌーワークス 京都学園大学歴史民俗学専攻
天若湖アートプロジェクト実行委員会 桂川流域ネットワーク 森林環境ネットワーク カッパ研究会
京都大学生存基盤科学研究ユニット・東南アジア研究所

協力：同志社大学 2011年度プロジェクト科目「京の筏を復活させよう！～保津川筏復活プロジェクト～」

助成：花王・コミュニティミュージアム・プログラム 2010～2011
京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金



京都府地域力再生活動

京都・保津川の筏流し

かつて、保津川(桂川)には丹波山地で伐り出された材木を運ぶ筏流しが盛んにおこなわれていました。その歴史は古く、奈良時代にまでさかのぼるといわれています。

保津川の筏流しは、材木や商品の運搬によって京の都の人々の暮らしを支えた一方で、たとえば足利尊氏による天龍寺造営や豊臣秀吉による大坂城や伏見城築城など、その時代の大事業においても大きな貢献を果たし、時の権力者からも特別な地位を認められてきました。江戸時代末期には経済の発達にともなって輸送も飛躍的に増加し、最盛期には毎年60万本もの材木が京都・大坂に送られ、保津川流域は大きく栄えることとなります。

半世紀ぶりの筏復活をめざして

古代から近世にかけて大きく栄えた保津川の筏流しですが、明治・大正期の山陰本線の開通や国道の整備によるトラック輸送の普及とともに次第に衰退し、戦後しばらくして完全に途絶えてしまいます。現在、流域にご健在の元筏士の方々も数名となり、貴重な伝統技術とともに、筏の記憶も、今まさに途絶えようとしています。そこで2007年8月に日吉ダム(南丹市日吉町)で行われた天若湖アートプロジェクト2007では、元筏士の方々の指導のもと、伝統的な技法による筏の復元を行いました。2008年には約60年ぶりに保津大橋(亀岡市保津町)から、かつて筏の中継地であった山本浜(同篠町)まで、筏流しを復活させることに成功し、2009年には保津峡・落合から嵐山までの筏流しが実現しました。

今回は、筏の試乗会を行います。今まで見ることしかできなかった保津川筏にじかに触れてみてください。この貴重な歴史遺産を多くの方々が体験し、かつての流域を結ぶ川の営みを実感していただくことで、「筏がつなぐ歴史の記憶」を甦らせたいと考えています。



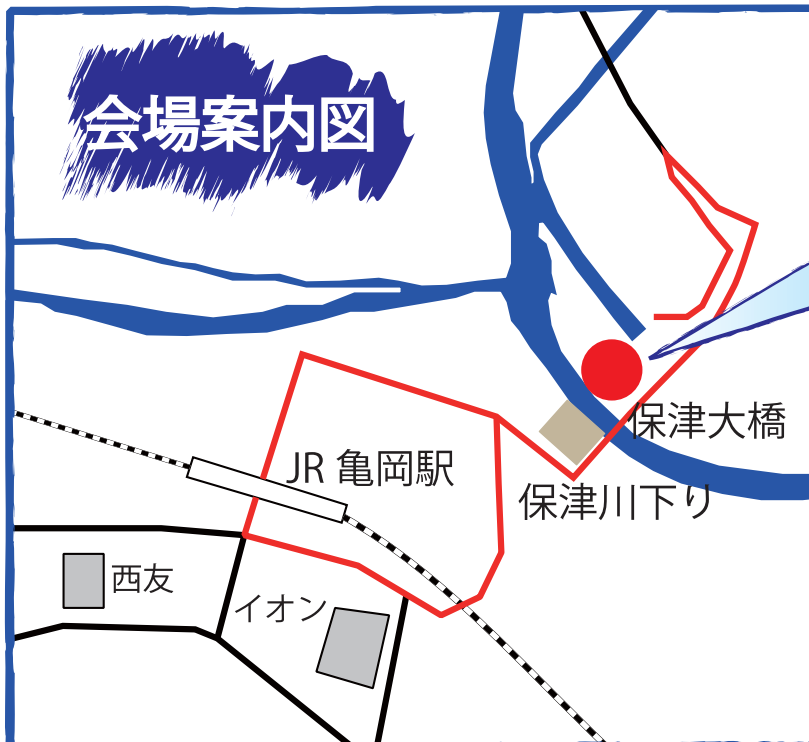
歴史教室の様子 2008年9月10日



保津峡を下る筏 2009年9月9日



保津小橋を下る筏 2010年10月23日



【当日の試乗会予想図】

いにしへの保津川に
タイムトリップ!!



※濡れますので、濡れても支障のない格好でお越しください。
※暑さ対策は各自でお願いいたします。